

豊 栄 病 院 ニュース

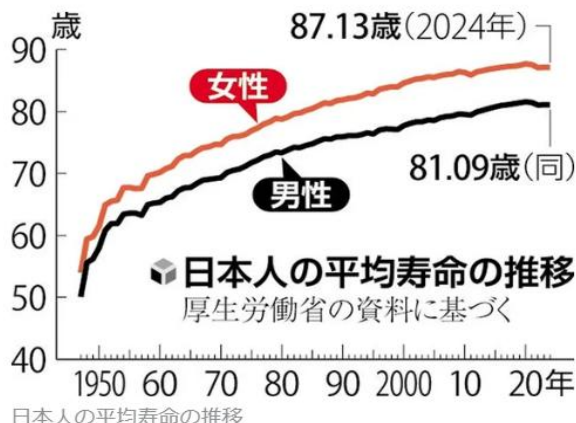
令和 7 年 8 月号

7月15日に、新潟市北区の医師会の医師会の会議(15班班会議)が行われました。全出席医師数は28名で、豊栄病院からは関病院長、私・宮島を含め5名が参加しました。また、新潟市北区健康増進係の2名も参加、北区もの忘れ検診実施状況や3月に行われた市民公開講座の報告などがありました。班会議およびその後に行われた懇親会で思ったことは、非常にこの地域の病院・病院間、開業医・病院間、そして開業医・開業医間、さらには医師会と行政とが良好な関係を築いているという事です。この良好な関係を維持し、この地域の医療をより一層良いものにしていこうと考えました。

さて、北区もの忘れ検診については、以前にもこの誌上で取り上げましたが、平成29年度より開始し、ここ数年は、800人強(初年度は2299人)の受診者となっています。この検診により、早期の認知症患者、MCI(軽度認知障害状態の方)、要経過観察者を発見し、令和6年度では8名の方が要精検・要経過観察者となりました。素晴らしいことに、このすべての方は、医療機関や地域包括支援センターへのフォローにつながっています。相変わらずこうした取り組みは新潟県ではこの北区にとどまっています。北区の医師達は無償で行っていますが、それが他の地域での参入のネックになっているかもしれません。



猛暑で外に出る気が起こりません。まさか、北海道が39度になるなんて……。上写真は6月22日の五十公野公園あやめ園ですが、この時も灼熱でした。



厚生労働省によると、2024年の日本人の平均寿命は、女性87.13歳(前年比マイナス0.01歳)、男性は81.09歳(横ばい)でした。国別では、女性は40年連続で世界1位でしたが、男性は5位から6位になりました。厚生労働省は、2023年と比べ、心疾患などによる死亡が減った一方、老衰や肺炎による死亡が増えたため、平均寿命は横ばいになったとしています。

豊栄病院では職員向けに、様々な勉強会や、講演会が行われています。7月22日には、院内感染対策委員会が主催し、齋藤呼吸器内科医師が腸炎や偽膜性腸炎などを引き起こすクロストリディオイデス・ディフィシル(以前はクロストリジウムと呼ばれていましたが)感染症について講演されました。細菌を検出するためには軟便または水様便(ブリストル便性状スケール5以上)で検体提出する事、また芽胞形成するためアルコールによる消毒はほとんど効果がないこと(次亜塩素酸で効果あり)などを話されました。

7月23日には他病院の緩和ケア認定看護師を講師に招き、“認知症高齢者の意思決定支援”という演題で講演をしていただきました。認知症の方であっても意思決定能力を有するという事を前提に意思決定支援を行い、尊厳を保ち暮らしていけるように支援することが基本であるとお話しされていました。

発行責任者・文責; 豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784